

メンテナンスが中国ネットワークを子会社化

「FMミコリン」が今月開局

自動車工場の生産設備メンテナンス事業・スパイラルダクトなどのエンジニアリング事業をはじめとする(株)メンテナンスワールド(東広島市八本松飯田2-2-1、小松節子社長)は、6月末付けで中国新聞社などが出資する「FMちゅーピー」の運営会社である(株)中国コミュニケーションネットワーク(中区土橋7-1)の大半の株式を取得し、子会社に加えた。



1日からは新体制のもと「コミュニケーションとリンク」を掛け合わせた造語に由来する新たな名称「FMミコリン」として開局。あわせて同局の公式ロゴおよび公式キャラクター「ミコリン」II画像IIを公開した。

新社長に就いた小松社長は、2016年からFMちゅーピーでラジオ番組「節子の部屋」(毎週月曜日午後7時放送)を持ち、企業経営や広島アセアン協会の会長などの要職を兼務している中で縁を持った、国内外の様々な業界で活躍する著名人をゲストに迎えて、これまでのあゆみなどをインタビューしている。

今回の子会社化はこれまでの10年間に及ぶ同番組の実績が評価され、同氏に声が掛かった。中国新聞社の岡島鉄也社長からは「地域への深い思いと実績を持つ、メンテナンスワールドに託せることを誇りに思います」とコメントが寄せられた。

FMミコリンの開局を記念して1日の放送では「節子の部屋 拡大版」(午前9時〜午後5時)を生放送。ゲストに部谷俊雄ひろぎんホールディングス会長、高垣廣徳東広島市長、久保雅義サンフレッチェ広島社長、横田美香広島県知事、元内閣総理大臣岸田文雄衆議院議員、越智光夫広島大学

学長、松本太郎廿日市市長など広島県の政財界で活躍する著名人を迎えた。SNSなど動画を含むメディア展開およびイベント企画なども視野に入

れるとともに、ラジオパーソナリティとの連携も深め、スポンサー収入だけに頼らないビジネスモデルを模索し、その利益をメディア事業へと循環。地域に密着した情報を届ける地域になくはならないメディアとして再構築していく。さらに地域FMとしての最大の使命に「災害時の正確な情報発信」を掲げ、災害時には最優先事項として取り組む方針だ。

小松社長は取材に対して「将来的な目標の一つに掲げているのは、広島とアセアン諸国を繋ぐことです。アセアン11カ国にも放送局を設け広島とアセアンを結び、情報発信のみならず新事業にも繋がるメディアを目指していきます」とこんごの事業構想を説明した。